

はじめにーお別れの季節ー

授業が月初に終わり、夏休みが始まりました!!!台湾の大学では一学年が終わり、卒業シーズンです。ほとんどの交換留学生在が帰国、そしてルームメイトも帰国し、なんだか寂しい気分です。寂しくないように4人部屋を選んだのに、突如一人暮らしが始まって、戸惑いを隠し切れません。日本で別れの季節といえば春です。別れの歌の多くも春や桜を連想するものが多い気がします。そのため台湾での別れの季節が、夏であることに文化の違いを感じました。勝手に春はお別れの季節、夏は楽しい季節と思い込んでいましたが、自国を出てみると季節への感じ方が違うことに気が付き、面白いなと思いました。



台湾人にとって別れで連想するものは「マンゴー」なのかもしれない

台湾生活

○イラっとしたこと

MTC (語学学校) で夏休み授業の申し込みがありました。そこで、事件は起きました。夏休みの授業には、2か月のコースと3か月のコースの二つがあります。以前聞いた話では、交換留學生は6月の申し込みの日に来れば、2か月コースに申し込めるということでした。しかし、5月最終日に突然、2か月コースは満員だから、3か月コースを5月中に申し込まないと夏休みの授業は受けられないと言われました。しかし、他の職員さんに聞くと、6月に来れば2か月コースに申し込めると言われました。一人一人職員さんが言っていることが異なり、パニック!!これが、台湾であると言われればそれまでなのですが、私も台湾人流に怒ればよかったと後悔しています(台湾人はよく店員さんと喧嘩しています)ただ、そんな語学力がないので、怒鳴って喧嘩をするには語学力が必要であることを痛感しました。バトルをする気はないのですが、自分の主張を聞いてもらえるくらい語学力をあげなければいけないと思う出来事でした。

○小琉球&高雄旅行

2泊3日の旅行に行ってきました。高雄は台湾南部にある都市です。小琉球は高雄からフェリーで30分くらいで着く小さな島です。小琉球ではウミガメが間近で見られるため、シュノーケリングなどのアクティビティがあります。私は海で泳ぐのが嫌いなのですが、そんなことがどうでもよくなるくらいキレイな海で、シュノーケリングやSUPを楽しみました。

高雄は海運で栄えた街で、日本でいう横浜に近い雰囲気でした。特に駁二芸術特区は倉庫を改装したところで、赤レンガ倉庫のような感じでした。泊まったホテルが一泊一人340元(約1500円)だったので不安でしたが、小さいゴキブリが一匹出ただけで快適に過ごせました。

台湾は小さな島なので、高鐵に乗ればすぐに南に行けることがいいところです。



卒論 NOTE

海外で卒論を書くとなると一番の心配事は言語です。言葉が通じないのでインタビューができません。また、中国語の文献を読むことも一苦勞です。しかし、台湾は日本語の文献が多くあるところがいいところです。地理的に近いため、台湾研究をしている日本人研究者が多く、大学の図書館に多くの日本語の文献があります。今は、日本語の文献で基礎的な知識をつけて、読みつくしたら中国語の文献を探してみようと思います。

<台湾の女性議員の割合>

5月の報告書では、台湾のクォータ制度について取り上げました。

実際、女性議員の割合を調べてみると、非常に高いことが分かりました。図1より、2021年の台湾の国会議員に占める女性の割合は、42%と非常に高いです。順位も25位と世界的に見ても先進的です。それに対し、日本は9.7%で165位であり、世界の中でも女性議員の少ないことが分かります。また、図2は台湾における、地方首長の女性の割合と地方議会の女性の割合を表し、それぞれ2018年と2021年との比較を示しています。全ての項目において、増加または変化なしと地方において、女性の議員や首長が増えていることが分かります。

これらのことから、台湾における女性の政治参加が国会のみならず、地方でも進んでいます。またその水準は国際的にみても高いことが分かりました。



図1 2021年主要國家の女性国会議員の割合
(出典：行政院性別平等處, 2023, 年性別圖像)

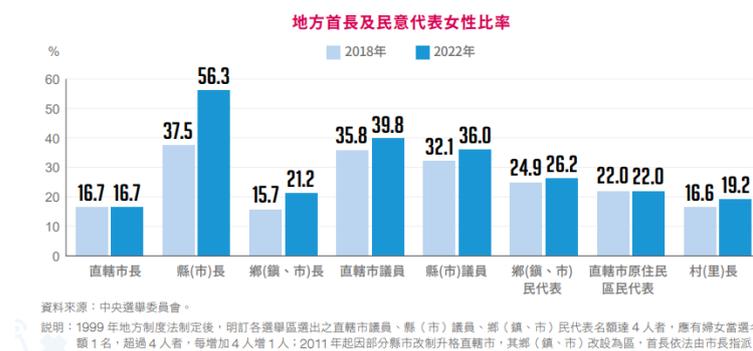


図2 地方首長と地方議員における女性の割合
(出典：行政院性別平等處『2023年性別圖像』)

<少数民族出身の女性議員>

続いて、私の研究対象である少数民族出身の女性議員はどれくらいいるのでしょうか。台湾の国会議員選挙にあたる立法委員選挙には、少数民族枠があります。「平地原住民」と「山地原住民」の枠があり、それぞれ三議席ずつ与えられています。

図3は2020年に行われた立法委員選挙の「平地原住民」枠の選挙結果です。男性2名、女性1名が当選していることが分かります。図4は同じく2020年に行われた立法委員選挙の「山地原住

民」枠の選挙結果です。こちらは男性1名、女性2名が当選しています。

「平地原住民」と「山地原住民」の投票結果を合計すると、少数民族の議員は男性3名、女性3名で、男女が半々になるという結果でした。定数が6名という少ない議席ですが、少数民族枠においても女性議員が活躍しています。

地区別	人口数	選挙人数	候選人數			當選人數			投票數		
			計	男	女	計	男	女	合計	有效票數	無效票數
全國	303,451	215,115	11	7	4	3	1	2	147,572	144,724	2,848

図3 2020年立法委員選挙における平地原住民枠の選挙結果

(出典：中央選挙委員, 會選舉及公投資料庫 (2023年6月20日取得、<https://db.cec.gov.tw/ElecTable/Election?type=President>))

地区別	人口数	選挙人数	候選人數			當選人數			投票數		
			計	男	女	計	男	女	合計	有效票數	無效票數
全國	267,501	199,833	10	5	5	3	2	1	124,504	121,880	2,624

図4 2020年立法委員選挙における山地原住民枠の選挙結果

(出典：中央選挙委員, 會選舉及公投資料庫 (2023年6月20日取得、<https://db.cec.gov.tw/ElecTable/Election?type=President>))

<これから>

そもそも女性の少数民族出身の議員はいるのかということが疑問でした。上記のことより台湾において、少数民族出身の女性が活躍していることが分かりました。しかし、私自身の少数民族枠について知識が足りないことが分かりました。先住民枠はいつできたのか、取り入れる背景や取り入れる際の国民からの抵抗はなかったのかなど様々な疑問点が浮かんできました。また、今回調べた選挙結果は数値のみです。候補人や当選者のパーソナリティなどを調べる必要があります。これらのことを調べたら、これから先の研究の道筋が見えてきそうです。

<参考文献>

- ・中央選挙委員, 會選舉及公投資料庫 (2023年6月20日取得
<https://db.cec.gov.tw/ElecTable/Election?type=President>)
- ・行政院性別平等處, 2023, 『2023年性別圖像』